○　第６回合同会議

１　日時・場所

平成22年９月９日(木)　19:00～21:00　　三条地域振興局

２　出席者

(1) 県

副知事

(2) 市町村

三条市長　加茂市長　燕市長　田上町長　弥彦村長

(3) 医療関係者

三条市医師会長　加茂市医師会長　燕市医師会長　見附市南蒲原郡医師会理事

県立吉田病院長　済生会三条病院診療部長　厚生連三条総合病院長

三之町病院長　富永草野病院理事長　燕労災病院長

３　議事概要

第２回あり方検討会議(平成22年７月23日(金))における共通認識及び合意事項に基づき、救命救急センターの機能・規模・必要医師数について検討を行った。

事務局の考え方を説明し、更に資料要求があったため、引き続き検討を行うこととなった。

【主な議論(必要医師数について)】

(1) 事務局たたき台

併設病院医師の支援(ローテーション勤務又は緊急手術等)を前提に、全国の救命救急センターの運営実態を踏まえ、センターに常駐する医師は昼夜それぞれ３名程度必要と考えられる。(センターに必要な全体医師数は、併設病院の医師数と併せて議論すべき。)

(2) 出席者の意見

併設病院医師の支援なしに、救命救急センター単独で運営するイメージを前提に、県央医療圏の域外搬送実態を踏まえ、救命救急センターで受け入れるべき患者数を考慮し、その患者の対応に必要なセンター医師数について議論すべき。